

会 議 録

1 会議名

平成29年度第1回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・地域活動支援事業について

①提案者による提案説明、質疑応答

②委員協議・採決

・追加募集の実施について

3 開催日時

平成29年5月30日（火）午後1時30分から午後2時53分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 熊木敏夫（会長）、秋山千恵子（副会長）、青木ユキ子（副会長）、
飯塚徳雄、市川 禅、牛木幸一、大原久雄、樺沢早苗、高橋邦夫、
高橋秀樹、中川 清、野島賢一、羽根田丈和、山崎栄一（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、星野主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【熊木会長】

・挨拶

- ・会議録の確認：市川委員、牛木委員に依頼

議題【協議事項】地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料2「平成29年度 有田区地域活動支援事業提案書 受付一覧（担当課所見あり）」に基づき説明

【熊木会長】

これより、各団体の代表者に提案の補足説明を求める。

「No.1 有田地区の史跡散歩地図作成に関する事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.1 有田地区の史跡散歩地図作成に関する事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し意見等はあるか。

【青木副会長】

大変活用しやすい地図で、小中学校でも活用する予定があるそうだが、名称等の呼び方が分からないものもあるので、付けられる範囲でふりがなを付けてほしい。去年の作成した地図で言うと、最低限でも「主な史跡一覧」についてはふりがなが入っていると分かり易いのではないかと思うがいかがか。

【提案No.1 有田地区の史跡散歩地図作成に関する事業提案者】

体裁もあるので検討させていただきたい。

【熊木会長】

他に質問等はあるか。

【中川委員】

蟹池では富岡と藤野新田が混在している。掲載することに関して関係町内会から了解は得たのか。

【提案No.1 有田地区の史跡散歩地図作成に関する事業提案者】

蟹池といえば下門前だけだと思っていたが、関係町内への了解を得ることについて承知した。

【熊木会長】

他に質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

次に「No.2 有田わくわくフェスタ事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.2 有田わくわくフェスタ事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者に対し質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

次に「No.3 交通安全活動の推進事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.3 交通安全活動の推進事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し意見等はあるか。

【高橋秀樹委員】

昨年も同じ提案をされているが、今回の提案で交通安全協会の方全員に装備品が行き渡ると考えて良いのか。

【提案No.3 交通安全活動の推進事業提案者】

2年続けて調査した結果なので、これで行き渡ると考えている。

【高橋秀樹委員】

「希望調査」ということになると、後で貰わなかった、ということにならないか心配である。後で不足していることが分かっても予算がないと困ってしまうのではないか。

【提案No.3 交通安全活動の推進事業提案者】

一つ心配なのは、メンバーが替わることによってサイズが合わないということが今後出てくる可能性があるため、何年か後には追加調査という形をとらざるを得ないと考えている。

【熊木会長】

他に質問等はあるか。

【高橋邦夫委員】

管理はどのようになるのか。

【提案No.3 交通安全活動の推進事業提案者】

貸し出した装備品については、町内会単位で管理してもらおう。これまで、装備品の入

れ替え等が生じた場合は、本部で対処している。

【熊木会長】

他に質問等を求めるがないため、終了とする。

引き続き「No.4 地域防犯の普及啓発事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.4 地域防犯の普及啓発事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し意見等はあるか。

【野島委員】

のぼり旗の文字だが、「地域安全運動」ということになっているが、安全運動となると交通安全のイメージが強いので、これを「地域防犯運動」としたほうが効果的ではないかと思うがいかがか。

【提案No.4 地域防犯の普及啓発事業提案者】

当初平成21年に作成した時は、既製品ののぼり旗をアレンジして作ったというのが実態である。文字を変えた場合どれくらいになるのかを再度見積もり、予算を確認の上、できれば「防犯」の文字に変更したい。だが、既製品を利用できず、新たに作り直すとなるとかなり高額になると思うので、その場合は検討したい。

【熊木会長】

今の案件について、事業提案者の即答はいかがなものか。提案団体としての意向もそうだが、予算にもかなり影響があるのではないか。

【提案No.4 地域防犯の普及啓発事業提案者】

「地域防犯運動」の文字の既製品があるかは分からないので、確かに即答は出来かねるが、あれば対応を検討したい。

【熊木会長】

今の意見に対しては、「検討」ということで納めてほしい。

他に質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

次に「No.5 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.5 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し質疑を求めるがないため、終了とする。

引き続き「No.6 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.6 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

次に「No.7 有田地区小学校音楽演奏活動支援事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.7 有田地区小学校音楽演奏活動支援事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

次に「No.8 有田地区体育・レクリエーション協会事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.8 有田地区体育・レクリエーション協会事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

次に「No.9 第8回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.9 第8回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【熊木会長】

提案者の説明に対し質問等を求めるがないため、終了とする。

— 提案者退席 —

提案者による説明が全て終了したため、委員協議に入る。

最初に「No.1 有田地区の史跡散歩地図作成に関する事業」についての意見を求める。

【高橋秀樹委員】

子どもは、ふりがなを入れないと読めない。先ほどの青木副会長の「ふりがなを付ける」意見を反映した場合、費用がどれくらい掛かるか。掛かる場合は、その分を追加提案とするのか。

【熊木会長】

ふりがな程度であれば、費用はあまり掛からないのではないかと。

【荒木係長】

もし、作成費が値上がりする場合は、総事業費が増額となる。その場合、補助希望額の減額はあっても増額はできないので、事業を実施するために自主財源を増額できるかどうかである。できない場合は、一度提案を取り下げて、追加事業として再度提案していただく方法もある。提案者にとっては、見積りを取ってみての判断になると思う。

【熊木会長】

それでは事務局から提案者に連絡を取っていただき、検討してもらおうということをお願いする。

他に意見を求めるがないため、挙手による採択を行う。

当事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.2 有田わくわくフェスタ事業」について、意見を求めるがないため、この事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.3 交通安全活動の推進事業」について、意見を求めるがないため、この事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.4 地域防犯の普及啓発事業」についてだが、先ほど提案された文字の変更

についても、見積りを取った上で判断いただく。既製品ということで現在の値段になっていると思うが、文字変更で値上がりということになれば、改めて2次募集に提案いただく形もあると思う。

事務局に確認だが、採択された後に2次募集で変更案として提案することは可能なのか。

【滝澤センター長】

「地域安全」という部分を「防犯」に変えれば採択となるのか、それとも、「地域安全」という言葉でも採択するのか、それとも、今回は不採択とし、再度検討し直してから2次募集の際に金額も含めて提案していただくかがあると思う。

【熊木会長】

他に意見等はあるか。

【飯塚委員】

再検討するということなのか。提案書に「現在使用中の“のぼり旗”は7、8年前に配布したものであり」とあるが、今回も同じものなのか。

【熊木会長】

現在使用している物は、既製品に名入れしたものである。「地域防犯運動」という文言の既製品があれば値段は変わらないと思う。

【滝澤センター長】

「地域安全運動」から「地域防犯運動」に変更するということが地域協議会としての総意なのか。それとも、「検討してください」程度で良いのか。

【熊木会長】

文言の問題だが、提案にあった「防犯」という名称に切り替えるのか、または違う文言にしたほうが良いのか、それとも現状のまま「安全」という文字で良いのかということだが、いかがなものか。

【飯塚委員】

それはここで決める問題なのか。

【熊木会長】

地域協議会の審査の場で案を出し、提案団体で再考してもらおうという形になる。

確かに「安全」の文言だと交通安全と混同になる感じはある。

【高橋秀樹委員】

町内でもいろいろなのぼり旗があるが、「防犯」というものはない。皆さんが立哨などを行っている目的は防犯である。「防犯」が一番になっても良いのではないかということもある。値段との関係もあるだろうが、検討していただければと思う。提案の「のぼり旗を作る」ことには賛成だが、中身は検討してほしいという条件付きでどうか。それに対して値段が上がるようなら再提案ということもあるので至急対応していただきたいと思うがどうか。

【熊木会長】

一番良いのは、既製品の「地域防犯運動」というのぼり旗に変更することであり、それを検討していただきたい、ということをご提案者へ伝えるということによろしいか。

(異議なし)

それでは、この事業について採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に、「No.5 直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」について、意見等を求める。

【中川委員】

これについての父兄の反応はどうか。

【高橋邦夫委員】

教育要覧は、いろいろな学校があり、いろいろな特色があるので、自分の学校の特色がより際立ってくる。自分の学校だけしか分からないのではなく、ほかの学校と自分の学校も比較もできる。また自分の学校区だけではなく、広く直江津東中学校地域の子供たちがこんな活動をしているのだな、ということをご理解をいただいているところである。これは学校の先生方も、自分の学校だけにとどまらず、地域全体の子供たちを見ようということでご非常に効果的な資料として作成させていただいている。

【中川委員】

承知した。

【高橋秀樹委員】

基本的に学校の回覧や広告を出すよりも、学校の概要が分かれば良い。そのために非常に評判も良い、ということである。

【熊木会長】

他に意見を求めるがないため、この事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に、「No.6 直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」について、意見を求めるがないため、この事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に、「No.7 有田地区小学校音楽演奏活動支援事業」について、意見等を求めるが、他にないため、この事業について、採択に賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に、「No.8 有田地区体育・レクリエーション協会事業」について、意見を求めるがないため、この事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に、「No.9 第8回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業」について、意見を求めるがないため、この事業について、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

以上で採択審議を終了する。

「提案No.4 地域防犯の普及啓発事業」で出た意見については、事務局より提案者へ伝えていただきたい。

次に「追加募集の実施について」事務局より説明を求める。

【野島委員】

その前に事務局に質問する。今回、有田防災士会が事業提案をしていたと思うが、今回の審議に挙がっていない。これはどういうことか。

【荒木係長】

当初、提案されたが、地域協議会への審議依頼前に提案団体から取り下げ申請があったため、皆さんには提案書を示していない。

【野島委員】

取り下げということは、どこから出てきたのか。

【荒木係長】

有田地区町内会長協議会からの提案であり、その代表から取り下げがあった。

【熊木会長】

昨年の2次募集の採決の際、防災士のユニフォーム（活動服）について、防災士会の活動をPRする時に使用する場合の役員分だけが採択された、という話を提案者から防災士会の会長へ伝えいただいた。それを受け、私どもでどのようにするか結論を出したわけである。

【野島委員】

昨年度、2次募集で提案させていただいたと思うが、その際、提案が配分額を超えていたため、平成28年度は役員分だけということだった。平成29年度以降は、修正をしなければ対象にはならない、ということにはなっていないのではないかと。

【熊木会長】

もちろんなっていない。提案にあたっては、先回の採択の理由づけの中で、ユニフォームの必要性があるかということが多分議事録にも入っていたと思う。議事録にその記載はないか。

【野島委員】

平成28年度第4回有田地区地域協議会の議事録をここに持っているが、そういうことは書いてない。

【荒木係長】

昨年、採択の結果を提案団体に伝えた際、結果通知書を送っている。その中では、「減額して採択する」と記載されているが、内訳として、役員6人分は認めるが、それ以外の14着分は対象外になるということを記載した。

【野島委員】

それは平成28年度分の予算についてである。平成29年以降は駄目ということは示していないのではないかと。

【荒木係長】

そうである。昨年の協議の中では、役員分は認めるという採択だった。

【野島委員】

それは予算額が少ないために検討してほしいということで、話し合いの結果、団体が了解し、役員分だけ作るということになっていた。

【荒木係長】

事務局の認識では、6人分というのは、あくまでいろいろなPR活動をする役員として6着ということで、採択の際に、防災士会の役員数の確認もとっていた。なので、PR活動の人員として採択とし、それ以外の方の分は不採択となった。

確かに提案額の総額が補助金の配分額を超過していたが、それが不採択理由ではないと認識している。

【野島委員】

昨年採択された着数が、役員分だけということは承知している。だが、防災士を増やすという市の方針があり、各町内会長は防災士資格の受験を受けさせている。今年是有田地区で8人合格されて入会していただいた。たまたま去年の人数分を作れなくて役員だけということとなったが、毎年人数が増えていくため、今回今年の分を提案しているのに、それが取り下げになっている。提案したものを皆さんで協議した結果、不採択となれば、それなりに理解はできるが、俎上に上がらなかったことが疑問である。

【熊木会長】

当案件の提案者である有田地区町内会長協議会長の立場として、私から答える。

今回の提案書を確認した上で、昨年の採択結果を改めて説明し、「これでは提案できないので、再度、提案団体の役員会で検討してほしい」と話をさせてもらった。その後、なかなか検討の答えが出てこなかったため、防災士会の会長と話をして今回の結論に至った。有田地区町内会長協議会長の名前で提案されている以上は、会長として内容も確認させてもらい、昨年のことを踏まえて2次募集で違う提案をしたらどうかという話をした。決して門前払いしたわけではなく、防災士会の会長と担当者とも話し合いをさせてもらった上での判断である。

【野島委員】

それは次回までに再検討して提案しても良いということか。

【熊木会長】

それは防災士会の判断でやることである。

私の意見として添えたのは、それよりももっと有効な部分（ソフトの部分等）はどうかという話をさせてもらった。予算についても2次募集を実施すると思われるので、この部分はそのように活用してほしいと担当者へ伝えた。そういう経過があるので御理解いただきたい。

続いて「追加募集の実施について」事務局より説明を求める。

【荒木係長】

- ・残額が生じているため、追加募集の実施について協議するよう委員へ依頼

【熊木会長】

追加募集を実施するということで委員から同意を得る。

では、追加の募集期間について事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・追加募集期間の事務局案：7月14日（金）～7月31日（月）

【熊木会長】

- ・追加募集の期間を7月14日（金）から7月31日（月）で実施することで委員から同意を得る。

【荒木係長】

先の2事業分（提案No.1 有田地区の史跡散歩地図作成に関する事業、提案No.4 地域防犯の普及啓発事業）について、金額を確認し、残額も変わってくる可能性がある。それは事務局で進めてもよいか。

【熊木会長】

了解した。

次に「その他」について、事務局に発言を求める。

【荒木係長】

昨年度から自主的審議している「小猿屋小学校跡地の有効活用について」今年の3月に小猿屋小学校区の町内会の方々と意見交換を実施した。

今後の進め方としては、有田地区全体の町内会（有田地区町内会長協議会）との意見交換を6月下旬から7月上旬あたりに実施したいと考えている。

但し、この案件を少しでも早く前に進めるため、意見交換会の準備と並行して、検討委員会を作ってはどうかと思う。多少整理をし、その結果を受けて全体協議を行う流れでどうかと考えている。

【熊木会長】

事務局の説明のとおり、この案件の方向性を出すために、組織を作って意見をまとめていきたい。委員全員を招集してもなかなか進まないということもある。事前に市や地域への聞き取り等もある。そのため数名の委員である程度検討した後、地域協議会に内

容を提議して検討し、集約をして市へ意見を上げていきたいと思うが、どうか。

【高橋秀樹委員】

（仮称）検討委員会に入る委員は会長に一任する。

【熊木会長】

了解した。指名された委員はよろしく願います。

事務局に「有田地区町内会長協議会との意見交換会」について説明を求める。

【荒木係長】

「有田地区町内会長協議会との意見交換会」は6月から7月あたりの開催を考えている。実施に向けて、正・副会長と相談し、日程調整の上、委員の皆様には案内する。

【熊木会長】

了解した。準備をお願いします。

他に何かあるか。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案：8月お盆明けで調整予定
- ・まずは「有田地区町内会長協議会との意見交換会」を優先して開催

【熊木会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。